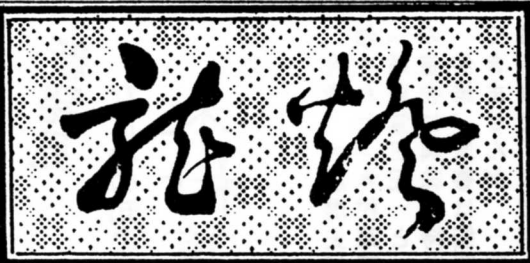


第42号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 靈 龜 山 九 島 禪 院
 〒550-0022大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-6583-2725
 発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)

阪神西大阪線難波延伸工事・平成十五年に着工着手！



ネット集団自殺

—自殺予防の方法とは—

一九九八年以降、自殺が激増し、年間三万人以上の人が自殺しています。また最近では「ネット集団自殺」といって、面識のない男女がインターネットの自殺系サイトで知り合い、集団自殺する事件も続発しています。キリスト教の教理では、自殺は罪悪だとされており、かつて自殺者の葬儀はおろか、教会の墓地にも葬ることができません。

仏教では「捨寿行（しゃじゅぎょう）」といって、自殺を否定していません。仏教の開祖のお釈迦さまは天寿（百二十歳）を全うせずに、八十歳で亡くなりました。つまり四十歳の寿命を、ご自分の意志で捨てられたのです。また、釈尊の十大弟子の一人で、智慧第一の舍利弗も釈迦よりさきに亡くなりました。入滅を希望され、お釈迦さまの許可をえて死んだと伝典は伝えられています。

お釈迦さまや舍利弗といった悟りを開いた人は、むしろ自殺をしたほうがよいとされている

のです。というのは、人間が生きていくには、動物や植物の命を奪わねばなりません。悪業をつくらぬために早く自殺したほうがよいとされるからです。

しかし、いまだ悟りを開いていないわたしは凡夫は、絶対に自殺してはいけません。なぜなら、凡夫は輪廻する存在であって、この世を自殺すれば再び天界、人間界、修羅の世界、畜生界、餓鬼の世界、地獄界のいずれかに生まれ変わります。人間界に生まれるとは限らないのです。人間界に生まれなければ、来世における仏道修行のチャンスはなくなるし、たとえ人間界に生まれても、そう簡単に仏道修行できるとは限らない。だからわれわれはこの現世において仏道修行をつづけたほうがよいのであって、仏道修行のチャンスがなくすような自殺はしてはいけません。いくら苦しめても、この世にあって修行をつづけるべきだと仏教は教えています。

「死にたいと言っている人間

は死なない」と言いますが、それはウソです。死にたいと言っている人間は死にます。そう思っただけで予防していきことが必要なのです。その人はSOSをだして続けているのですから。

自殺を考えている人に、死んではいけないなどと正論をおしつけたら、下手な説教するよりも、その気持ちを聞いてあげ共感してあげることが自殺防止に効果的なのです。

最近では、インターネットでも連鎖自殺を防止するため、「いのちの電話」など、多くの自殺予防のためのサイトを簡単に見つけることができるようになりました。

ご家族や友人が自殺してしまった方々は、そのSOSに気づかなかつたと自分を責めないで下さい。必要以上に自分を責めても何も良いことは生まれませんから。



